

特別号

西野小だより 春

平成 27 年度：後期特別号
京都市立西野小学校
校長 野口 尚志
山科区西野櫃川町 3 4
☎ 5 0 1 - 5 7 0 0
Fax 5 0 1 - 5 3 7 1

平成27年度：第2回「西野小学校評価アンケート」(保護者)

年度末のお忙しいところ，第2回『西野小学校評価アンケート』(保護者)を実施したところ，のべ208名もの保護者の方にご回答を頂きました。調査の内容や答え方で分かりづらいところもあったと思いますが，この調査の結果をもとにして，今後の指導に役立てていきたいと思ひます。ご協力，本当にありがとうございました。

重要度(左側)・・・重要なこと，大切なことの度合い

実現度(右側)・・・実際にあらわれること，あらわす度合い

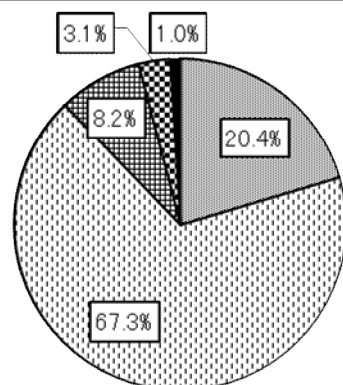
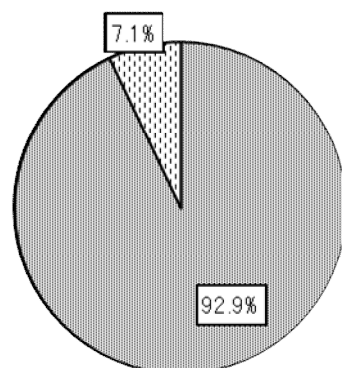
重要度

- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

実現度

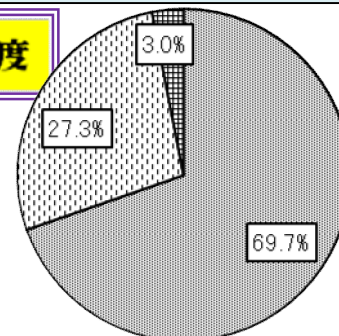
- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

子どもは，音読・漢字・計算等の基礎的な学力を身につけている。

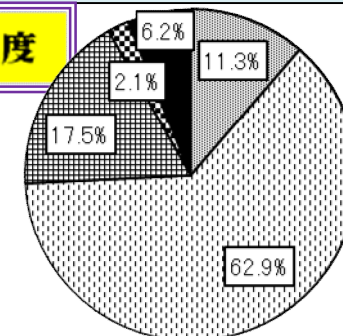


子どもは，授業の中で，進んで考えたり，発表したりしている。

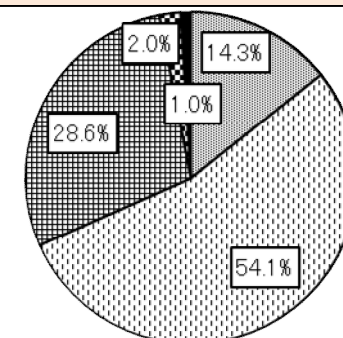
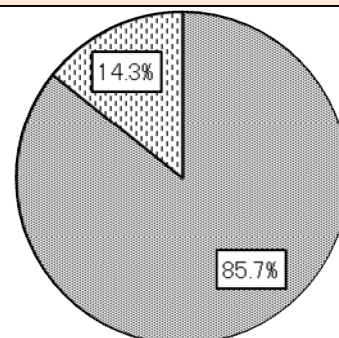
重要度



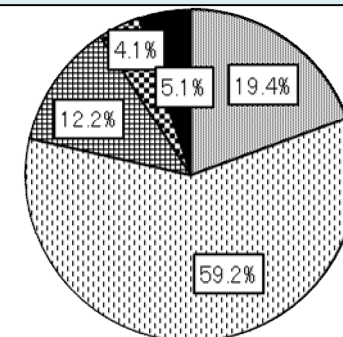
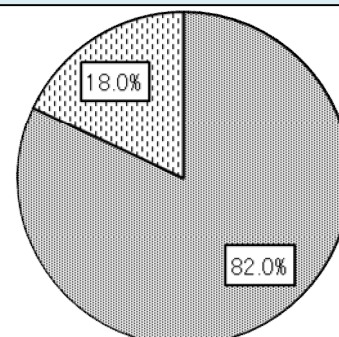
実現度



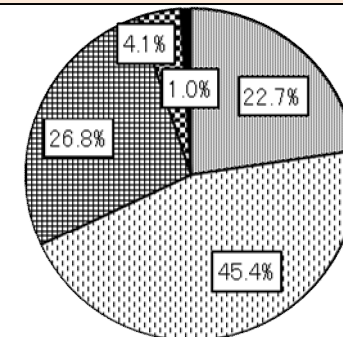
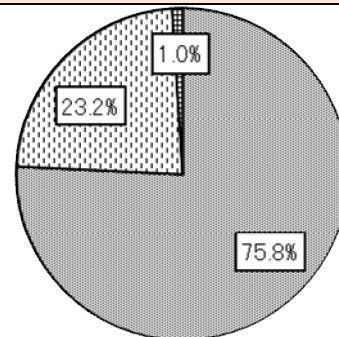
子どもは，言語活動(読む・書く・話す活動)を通して，伝え合う力を身につけている。



子どもは，授業がわかり，満足感や達成感をもっている。

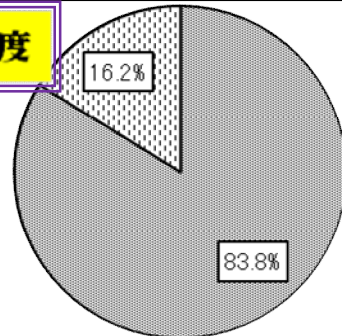


子どもは，家庭学習の習慣を身につけている。

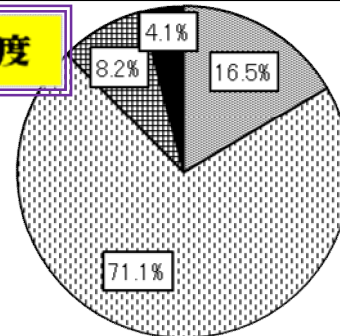


学校は、人を思いやる心を育てるなど、人権を大切にした教育を進めている。

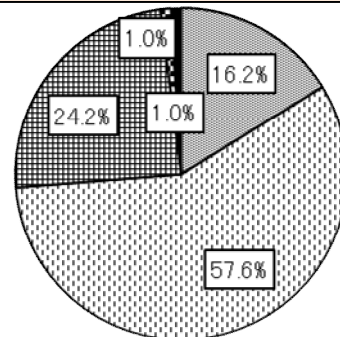
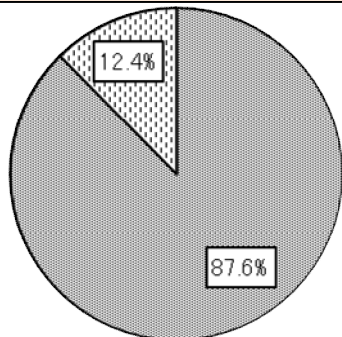
重要度



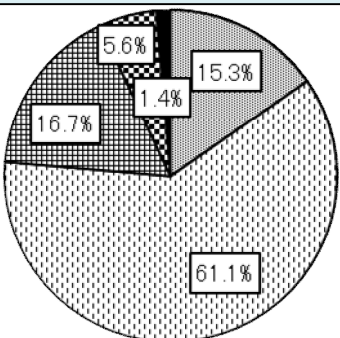
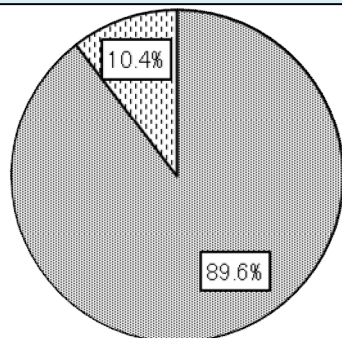
実現度



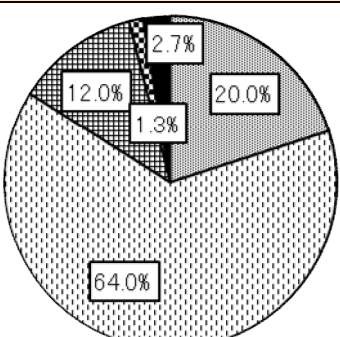
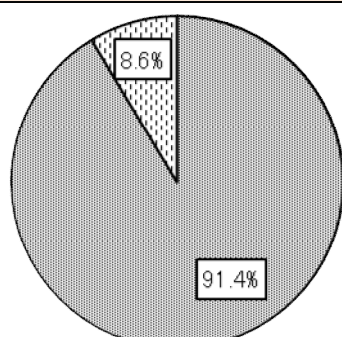
子どもは、気持ちの良いあいさつをしている。



子どもは、最後まで根気よくやりぬこうとしている。

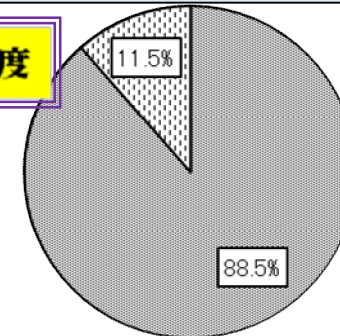


子どもは、きまりや約束を守って生活をしている。

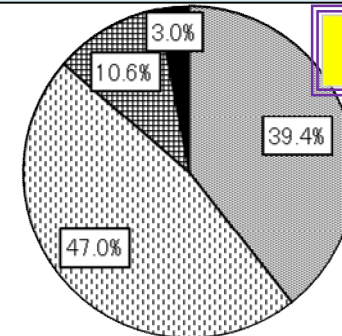


子どもは、楽しく学校に通っている。

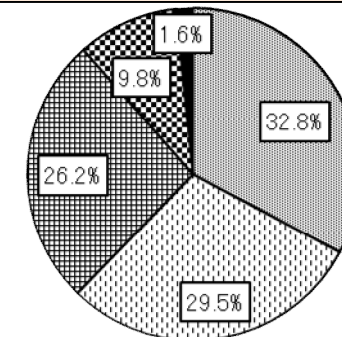
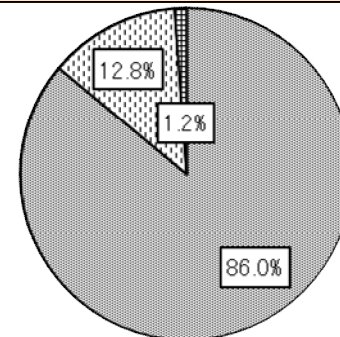
重要度



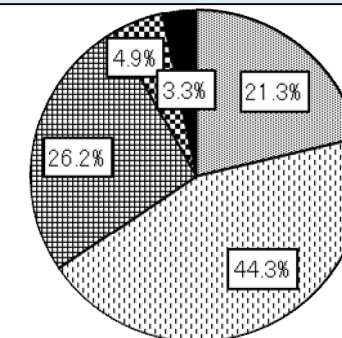
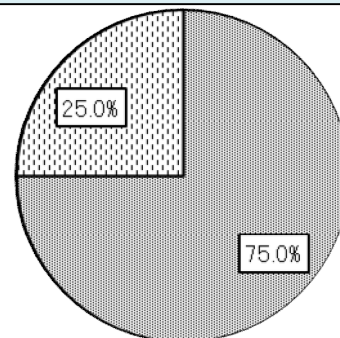
実現度



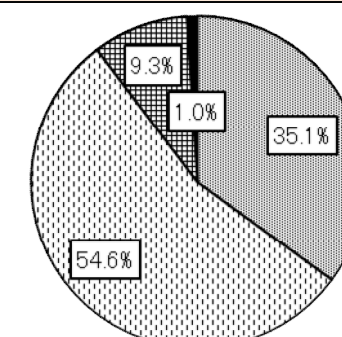
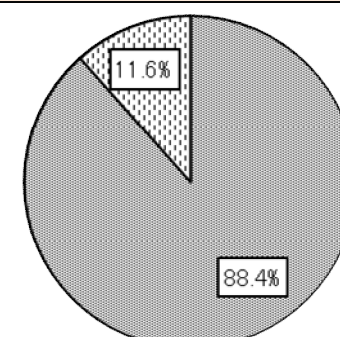
子どもは、読書の習慣がついている。



子どもは、健康で体力のある体をつくろうとしている。

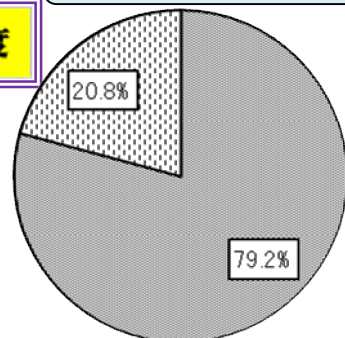


子どもは、安全（交通事故・危険な場所・不審者など）に気を付けて生活している。

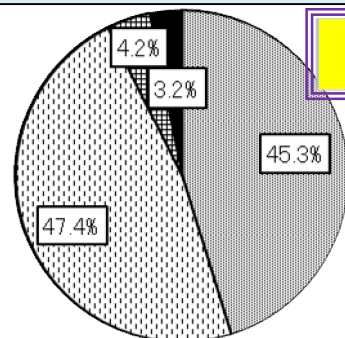


子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。

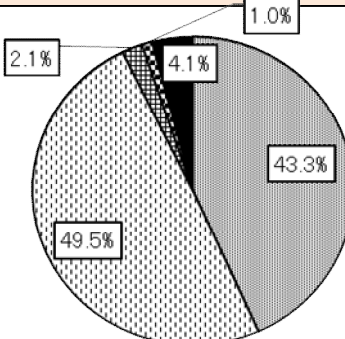
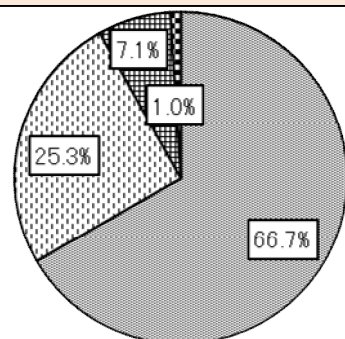
重要度



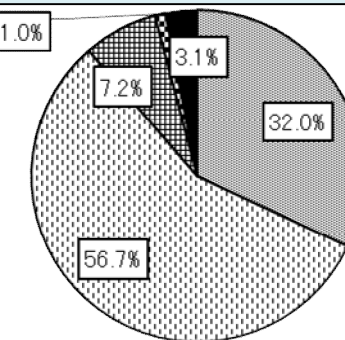
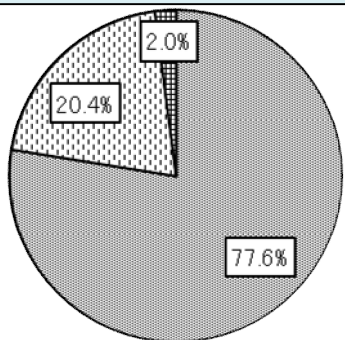
実現度



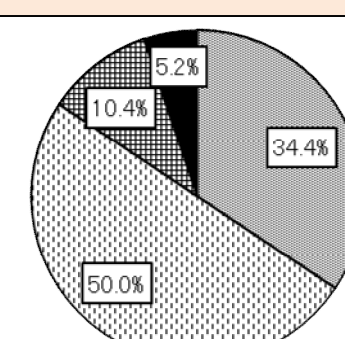
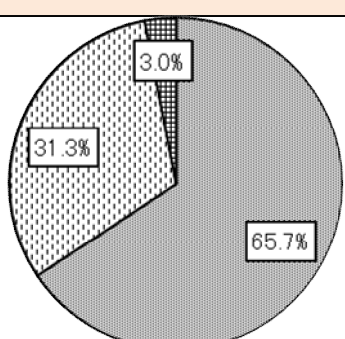
学校は、学級・学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。



教職員へ気軽に質問や相談がしやすい。



学校・家庭・地域が連携して、子どもを育んでいる。(PTA・地域行事への参加など)



「重要度」については、どの項目についても保護者の方々も、「重要・やや重要」だと考えておられます。(~ まで、92%以上)

一方「実現度」については、「よく出来ている」「出来ている」を合わせて特に%が高かった項目は、「学校は、学級・学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。」92.8%、「子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。」92.7%、「子どもは、安全(交通事故・危険な場所・不審者など)に気を付けて生活している。」89.7%という結果でした。

しかし、「実現度」の「あまり出来ていない」「出来ていない」を合わせて見ていくと、「子どもは、読書の習慣がついている。」36.0%、「子どもは、気持ちの良いあいさつをしている。」35.2%、「子どもは、健康で体力のある体をつくろうとしている。」31.1%、「子どもは、家庭学習の習慣を身につけている。」30.9%、「子どもは、言語活動(読む・書く・話す活動)を通して、伝え合う力を身につけている。」30.9%という結果でした。

「子どもは、読書の習慣がついている。」の項目では、昨年度の保護者アンケートでは「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせると(昨年度1回目)28%が35%(2回目)に増加し、今年度の1回目は40%が今回は62.3%とどんどんパーセンテージが上がって来ています。

今年度も1年間を通して朝読書に取り組み、親子読書(年2回)・読書ボランティアによる読み聞かせ(月1回)・中学生による読み聞かせ等もおこないました。

年2回の読書週間においては、その都度山科図書館から学年40冊を借入れて朝の読書をしたり、秋には教職員の読み聞かせをしたりしました。ご家庭においても、お子様に読書をすすめていただき、読書の習慣化をさらにはかれたらと思います。

たくさんの保護者の方々のアンケートのご協力、本当にありがとうございました。保護者の方々のアンケートやご意見を十分に受け止め、今後の学校運営にいかしていきたいと思います。

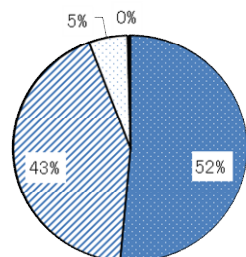


平成27年度：第2回「西野小学校学校生活アンケート」(児童)

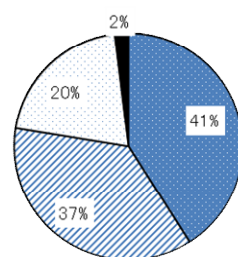
■よくできている □だいたいできている □あまりできていない ■できていない

本校の児童も、『学校生活アンケート』を実施しました。質問に対するアンケートの結果(実現度)は、下記の通りでした。

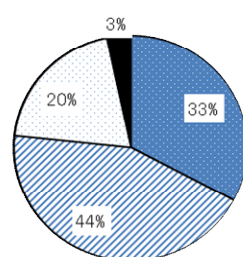
①読んだり、書いたり、計算したりできていますか。



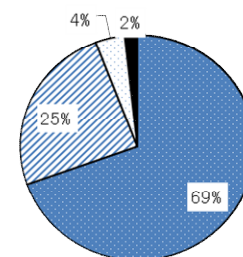
②授業中、進んで考えたり、発表したりできていますか。



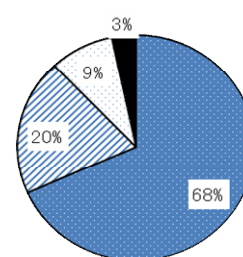
③思ったことや考えたことを分かりやすく伝えていきますか。



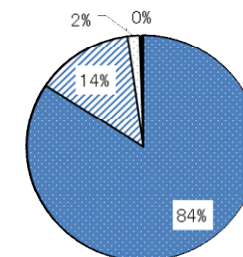
④授業がわかり、楽しく授業を受けていますか。



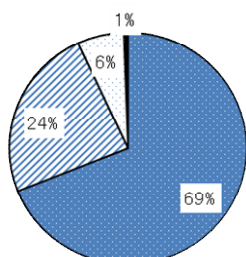
⑤宿題などを忘れずにしてきていますか。



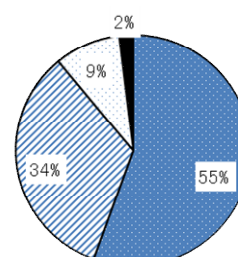
⑥友達やクラスの人を大切にしていますか。



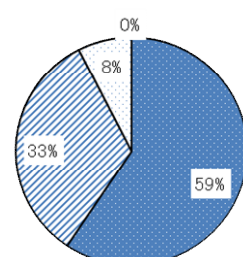
⑦気持ちのいいあいさつをしていますか。



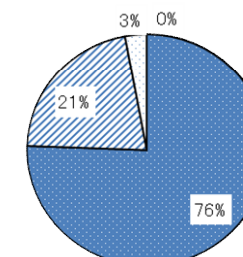
⑧根気よく最後までやりぬくことができますか。



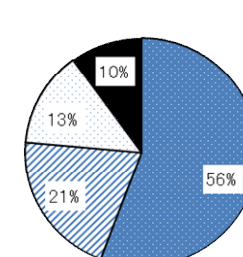
⑨きまりや約束を守っていますか。



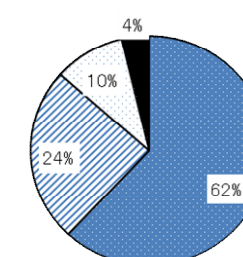
⑩学校で楽しくすごしていますか。



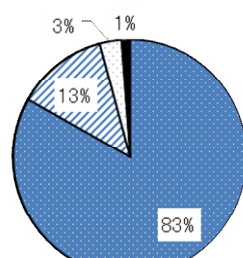
⑪読書の習慣はついていますか。



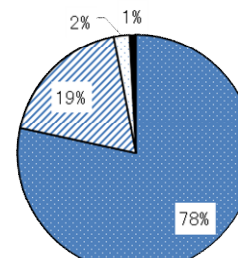
⑫健康に気をつけて、運動をしていますか。



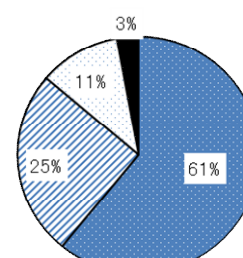
⑬安全(交通事故・危険な場所・不審者など)に気を付けて生活していますか。



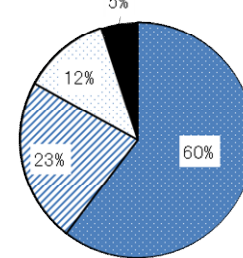
⑭そうじや給食などの当番活動がんばっていますか。



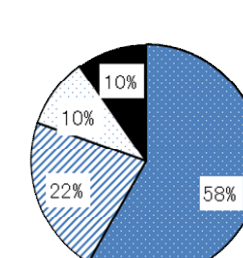
⑮先生にいろいろなことを話せていますか。



⑯お家の人いろいろなことを話せていますか。



⑰PTAやおやじの会、地域の行事に参加していますか。



児童のアンケートを見ると、「よくできている」「だいたいできている」のポイントはだいたい高く、特に質問 ⑥の「友達やクラスの人を大切にしていますか。」と質問 ⑩の「学校で楽しくすごしていますか。」では、それぞれ98.0%・97.0%と答えています。しかし、「あまり出来ていない」「出来ていない」の項目を見ていくと、質問 ③の「思ったことや考えたことを分かりやすく伝えていきますか。」や質問 ⑪の「読書の習慣はついていますか。」はそれぞれ前回は24.5%・23.9%でしたが、今回は23.0%と少し下がり、数値から見ると、分かりやすく伝えること、読書の習慣についてはまだまだ身に付いていないと自分で思っている児童がいます。

また、前回課題となっていた質問 ⑮の「先生にいろいろなことを話せていますか。」の項目を見ると、前回は「あまり出来ていない」「出来ていない」と答えていたのが23.7%あったのが、今回は14.0%と数値は下がっていましたが、今後もこのような点を中心に、課題として考えています。

特別号

重要度

- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

実現度

- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

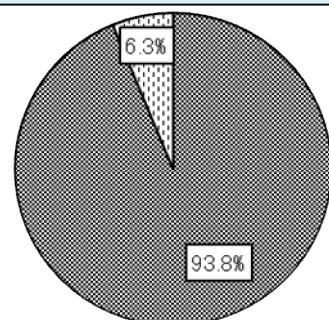
平成27年度：第2回「西野小学校評価アンケート」【教職員】

重要度（左）・・・重要なこと，大切なことの度合い

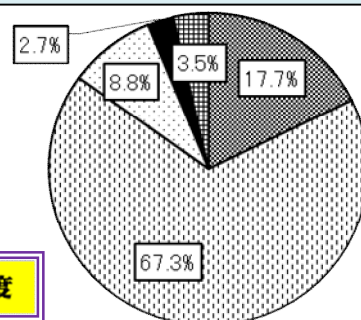
実現度（右）・・・実際にあらわれること，あらわす度合い

子どもは，音読・漢字・計算等の基礎的な学力を身につけている。

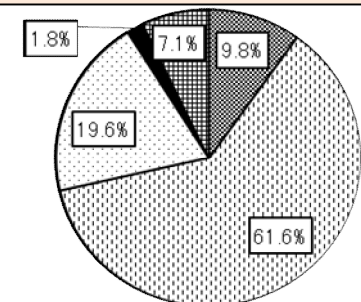
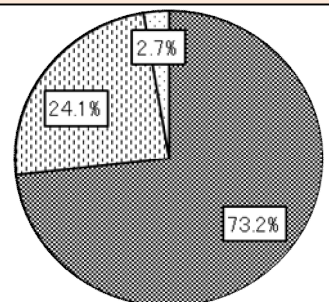
重要度



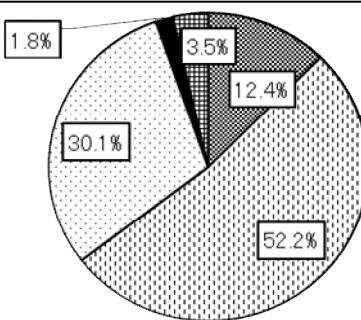
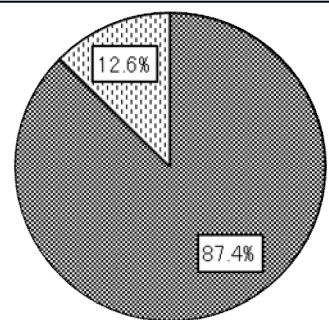
実現度



子どもは，授業の中で，進んで考えたり，発表したりしている。

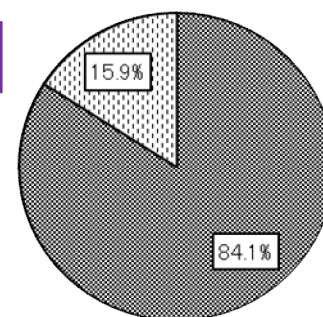


子どもは，言語活動（読む・書く・話す活動）を通して，伝え合う力を身につけている。

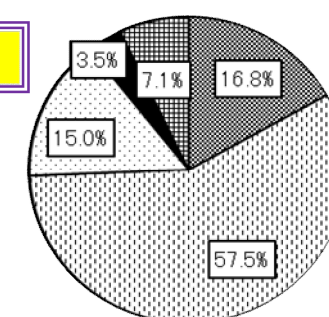


子どもは，授業がわかり，満足感や達成感をもっている。

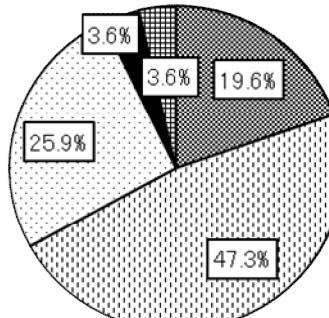
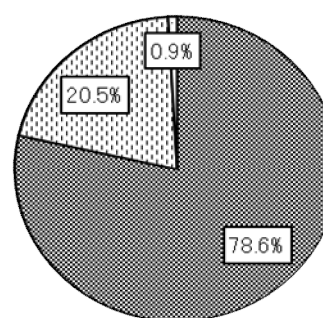
重要度



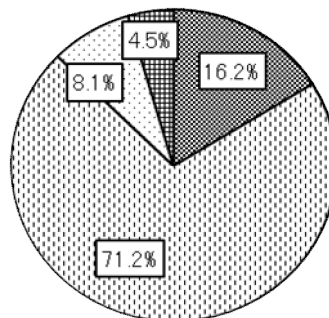
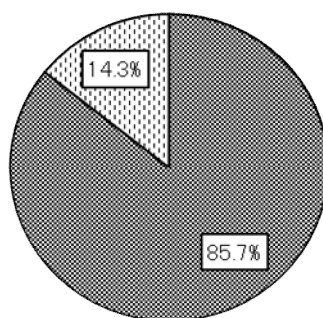
実現度



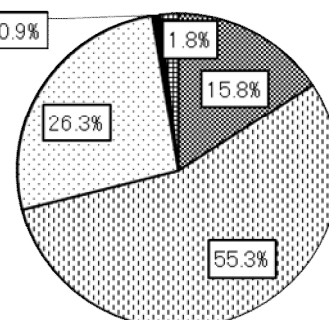
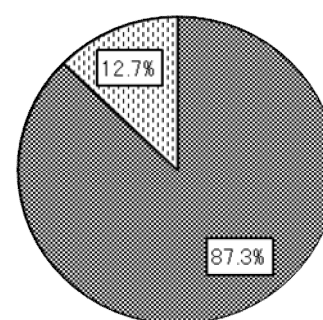
子どもは，家庭学習の習慣を身につけている。



学校は，人を思いやる心を育てるなど，人権を大切にした教育を進めている。

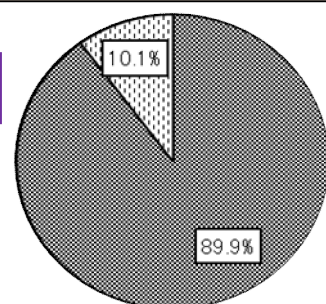


子どもは，気持ちの良いあいさつをしている。

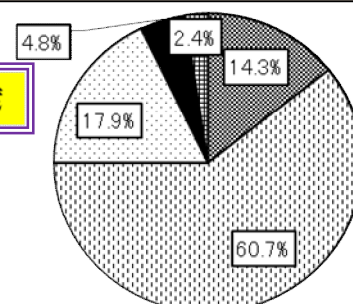


子どもは、最後まで根気よくやりぬこうとしている。

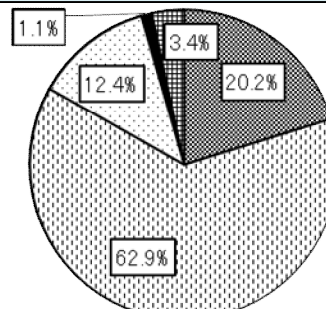
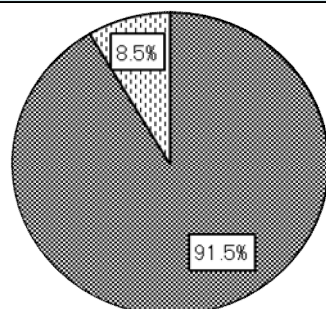
重要度



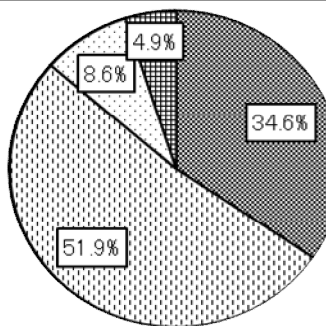
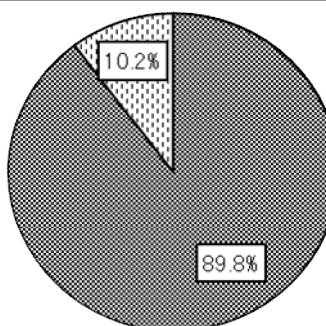
実現度



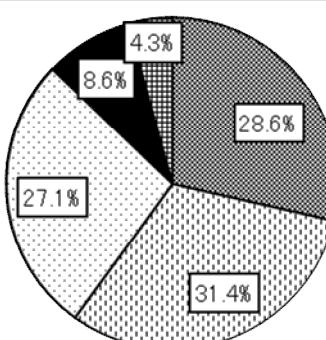
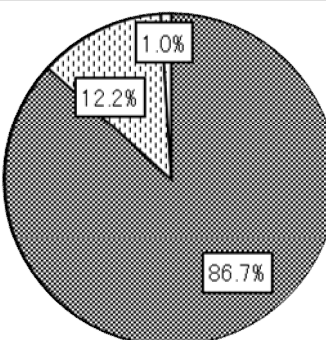
子どもは、きまりや約束を守って生活している。



子どもは、楽しく学校に通っている。

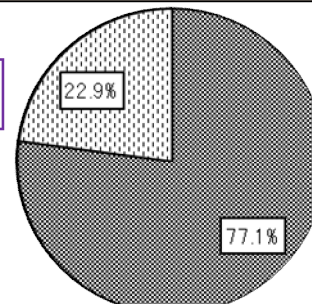


子どもは、読書の習慣がついている。

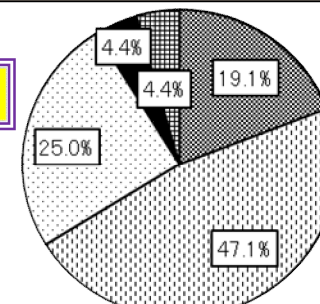


子どもは、健康で体力のある体をつくろうとしている。

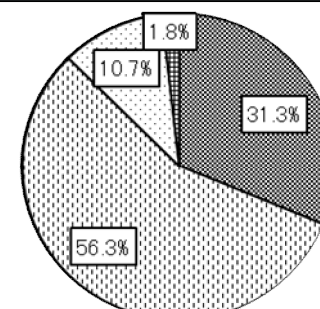
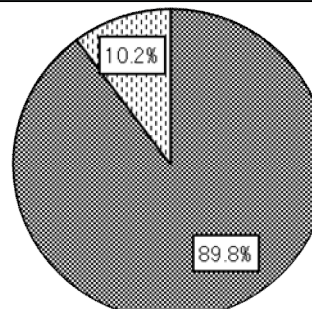
重要度



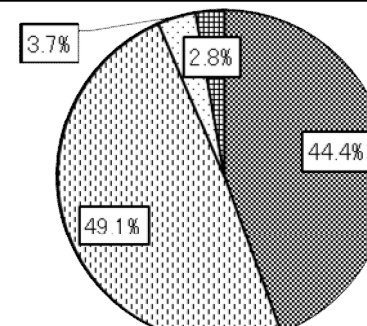
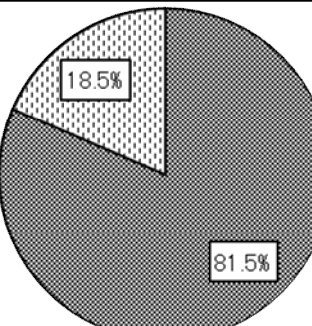
実現度



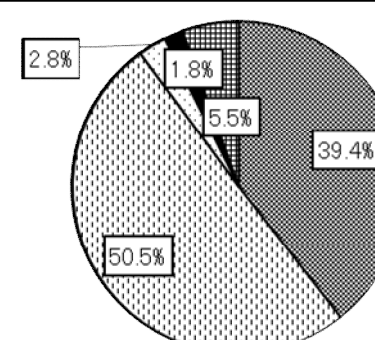
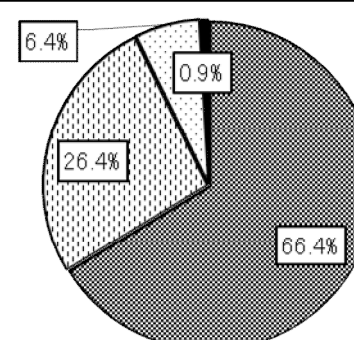
子どもは、安全（交通事故・危険な場所・不審者など）に気を付けて生活している。



子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。

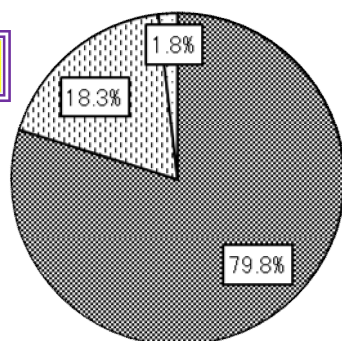


学校は、学級・学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。

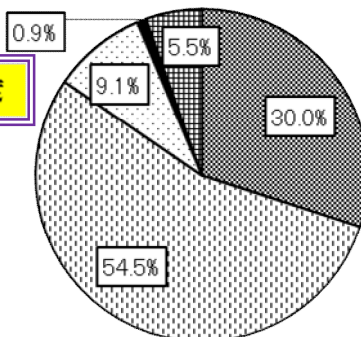


教職員へ気軽に質問や相談がしやすい。

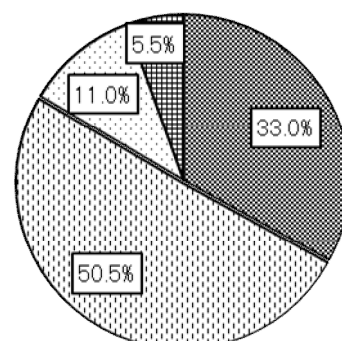
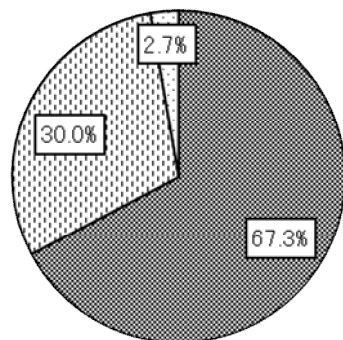
重要度



実現度



学校・家庭・地域が連携して、子どもを育てている（PTA・地域行事への参加など）



教職員のアンケートからは、「実現度」の中で「よく出来ている」の項目と「大体出来ている」のポイントを合わせて特に高かったのは、質問の「子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。」で、**93.5%**の教職員がそう感じており、前回のアンケートと同様に、西野小学校のほとんどの児童が真面目に当番活動がんばる特長が出ています。

次に高かったのが、質問の「学校は、学級・学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。」が、**89.9%**でした。また、質問の「子どもは、安全（交通事故・危険な場所・不審者など）に気を付けて生活している。」の項目では、前回は**85.0%**だったのが**87.6%**となり、少し上がりました。

一方「重要度」のポイントは高いが、「実現度」の「あまり出来ていない」「出来ていない」のポイントを合わせて特に高かったのが、質問の「子どもは、言語活動（読む・書く・話す活動）を通して、伝え合う力を身につけている。」が**35.7%**で、前回の数値より下がってはいますが、自分の思ったことや考えたことを進んで**発表する力・伝え合う力**（コミュニケーション能力）の向上と、**読書の習慣**等にまだまだ課題があると考えています。来年度以降も継続して、教職員一丸となって取り組んで参ります。

学校運営協議会より

3月14日（月）に、学校運営協議会やPTAの方々にお集まりいただき、学校アンケートの結果をもとに、様々なご質問やご意見を頂きました。

- ・「山科区13校で、学校評価アンケートについての情報交換はできているのか」というご質問があり、全小学校のアンケートはホームページに掲載していることをお知らせした。
- ・中学年ぐらいまでは自分の思いをうまく伝えられないので、言葉の足りないところは補足してやる等の手だてが必要である。この時期は、まだまだ表現力が不足している。
- ・ずうっと課題であった読書の数値がのびてきているのは良かった。読書を続けていると、コミュニケーション能力も高まってくる。
- ・「保護者と教職員の読書のアンケート数値（よく出来ている）は高いが、子どもの数値は低い。その差の原因はどこにあるのか」という質問があり、読書をする姿だけを見て読書をしていると思いがちだが、読書の中身を深めていくことが大切である。
- ・「なぜ、読書の数値がのびてきたのか」という原因を参加された皆さんと話し合い、その中で、図書支援員や図書ボランティアの方による階段での図書の紹介や読み聞かせ、継続的な取り組みによって数値がのびてきたのではないのか。朝読書についても、周りの子どもが本を読んでいると読もうという意欲がわく。学校の中で本を読む時間があることはとても大切である。
- ・「子どもは、安全（交通事故・危険な場所・不審者など）に気を付けて生活している」の項目については、子ども達ひとり一人が自分を守る意識が大切である。親から見ると交通安全上危険な場面をよく見る。子どもたち自身が気を付けなければいけない。
- ・西野校区には、自動車やバイクによる危険な個所がいくつかある。登校時に入ってきてはいけない時間帯にけっこう車などが通る。警察には、地域の方からも言うておく。それが抑止力につながる。
- ・「来年度の学校運営方針は決まっているのか」という質問があり、来年度のメンバーが決まり、このアンケートをもとにして考えていく。
- ・「学校・家庭・地域が連携して、子どもを育てている（PTA・地域行事への参加など）」の項目について、低学年とお年寄りとの交流などに招いてもらってよかったと思う。作品展も見せてもらった。このようなイベントに地域のものができるだけ参加させていただきたい。コマ回しにも参加させていただいたが、ほぼ全員の子がコマのひもをうまく巻けていたので驚いた。
- ・3校の6年生と安祥寺中学生による「琳派400年」の取組がすごかった。

など、この他にも言葉の問題や、西野小学校の芝生についての話など、様々な話題が出ました。

学校としましては、アンケート結果から、課題が見えた部分はもちろん、数字に隠された部分もしっかり見ていく必要があると考えています。％が高い項目（よくできている・だいたいできている）に安心することなく、数％と低くてもその少数の子どもたちにしっかり目を向けて関わり、取り組みを進めていくことが大事であると考えています。

皆様には、ご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。今後とも、西野教育にご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。